

12のステップ

- 1 ● 私たちはギャンブルの問題を持つ人に対して、そして自分以外の人の生き方に対して無力であり、人生が手に負えなくなっていたことを認めた。
- 2 ● 自分を越えた大きな力が、私たちが健康な心に戻してくれると信じるようになった。
- 3 ● 私たちの意志と生き方を、**自分なりに理解した神の配慮**にゆだねる決心をした。
- 4 ● 恐れずに、徹底して、自分自身の棚卸しを行ない、それを表に作った。
- 5 ● 神に対し、自分に対し、そしてもう一人の人に対して、自分の過ちの本質をありのままに認めた。
- 6 ● こうした性格上の欠点全部を、神に取り除いてもらう準備がすべて整った。
- 7 ● 私たちの短所を取り除いて下さいと、謙虚に神に求めた。
- 8 ● 私たちが傷つけたすべての人の表を作り、その人たち全員に進んで埋め合わせをしようとする気持ちになった。
- 9 ● その人たちやほかの人を傷つけない限り、機会あるたびに、その人たちに直接埋め合わせをした。
- 10 ● 自分自身の棚卸しを続け、間違ったときは直ちにそれを認めた。
- 11 ● 祈りと黙想を通して、**自分なりに理解した神との意識的な触れ合い**を深め、神の意志を知ることと、それを実践する力だけを求めた。
- 12 ● これらのステップを経た結果、私たちは霊的に目覚め、このメッセージをギャンブルの問題に影響を受けている人たちに伝え、そして私たちのすべてのことにこの原理を実行しようと努力した。

12の伝統

- 1 ● 優先されなければならないのは、全体の福利である。個人の回復はGAFAの一体性にかかっている。
- 2 ● 私たちのグループの目的のための最高の権威はただ一つ、グループの良心のなかに自分を現される、愛の神である。私たちのリーダーは信頼されたしもべであって、支配はしない。
- 3 ● GAFAのメンバーになるために必要なことはただ一つ、ギャンブルの問題に影響を受けているということだけである。
- 4 ● 各グループの主体性は、他のグループまたはGAFA全体に影響を及ぼす事柄を除いて、尊重されるべきである。
- 5 ● 各グループの本来の目的はただ一つ、いま苦しんでいるギャンブルの問題に影響を受けている人にメッセージを運ぶことである。
- 6 ● GAFAグループはどのような関連施設や外部の事業にも、その活動を支持したり、資金を提供したり、GAFAの名前を貸したりすべきではない。金銭や財産、名声によって、私たちがGAFAの本来の目的から外れてしまわないようにするためである。
- 7 ● すべてのGAFAグループは、外部からの寄付を辞退して、完全に自立すべきである。
- 8 ● ギャンブリング・ファミリーズ・アノニマスは、あくまでも職業化されずアマチュアでなければならない。ただ、サービスセンターのようなところでは、業務に従事する人を雇うことができる。
- 9 ● GAFAそのものは決して組織化されるべきではない。だがグループやメンバーに対して直接責任を担うサービス機関や委員会を設けることはできる。
- 10 ● ギャンブリング・ファミリーズ・アノニマスは、外部の問題に意見を持たない。したがって、GAFAの名前は決して公の論争では引き合いに出されない。
- 11 ● 私たちの広報活動は、宣伝よりもひきつける魅力に基づくものであり、公のレベルでの文字、音声、映像においては、私たちはつねに無名にとどまる必要がある。
- 12 ● 無名であることは、私たちの伝統全体の霊的な基礎である。それは各個人よりも原理を優先すべきことを、つねに私たちに思い起こさせるものである。